

タウンミーティング あったかいまち「ふじみ野」を目指して

日 時 平成27年7月7日（火）午後6時～7時30分
会 場 下福岡集会所（下福岡自治会）
天 気 くもり
参加者 42人



主な意見等

参加者 市の予算で、公債費はどれくらいありますか。

市 長 平成25年度末で約265億円の公債費残高となっています。有利な合併特例債ではありますが、真に必要な事業に対して活用していきます。

基金への積み立てについては、今後、公共施設の改修などに多額の経費がかかることが予想されています。蓄えられるときに蓄えておきたいと思っています。

参加者 新河岸から西側の下水道計画について将来展望を聞かせてください。

市 長 市街化調整区域への下水道の敷設は長年の課題です。合併前の両市町で行政区域の全地域を公共下水道の計画区域としていました。ただ、実施の時期については未定でした。公共下水道の敷設には、莫大な事業費が必要となりますので、近年、合併浄化槽の導入について研究し、地域説明会の際に提示しましたが、公共下水道による処理を望む意見が多く寄せられました。このため、現段階で合併処理浄化槽区域または公共下水道処理区域のいずれかに決定すること

が難しいため、現在の公共下水道事業を継続することとなりました。公共下水道の整備にあたっては受益者負担金も求めていかなくてはなりません。また、いつ整備が終わるということは言えませんが、整備方針作りに着手しています。

参加者　　この辺りは農家が多く、敷地が広いです。このため、公共下水管に接続するまでの距離が長く自己負担も大きいです。借り入れ制度も必要となってくると思います。

自治会長　農協では、貸付制度があります。

参加者　　エコパがオープンしてから 1 年ほどになりますが、利用率はどれくらいですか。

市　長　　正確な数字は今持ち合わせていません。

参加者　　エコパまでの送迎バスがありますが、この地域はルートになっていなく、メリットがありません。無料というのも不思議です。

市　長　　エコパの送迎バスはエコパが利用者のために運行しているバスで、市が運行しているバスではありません。市内循環バスは、旧大井町に走っていたバスです。市内全域にエリアを広げましたが、現在、年間 3,000 万円の赤字が出ています。見直すべきとの意見は合併前からありました。

本年度、公共交通の見直しをスタートしました。バス停までの距離がある人や路線バスの廃止などから交通が不便となった地域もあり、定時定路線とデマンドを組み合わせた方法について検討を進めています。また、受益者負担についても検討を行っていきます。交通空白地域を無くす取り組みを始めたところです。

参加者　　下福岡は市内循環バスの折り返し地点になっています。本数が少ない中で、運行ダイヤに偏りがあり不便です。

市　長　　高齢者が外出できる環境を整えることは、結果として医療費の抑

制にもつながるのではないかと考えています。

受益者負担も求めながら、運行経費を削減し、交通利便性を向上していきたいと思います。

参加者 バス停ではない場所でも、手をあげたら乗車できるようにしてもらえたらありがたいです。

参加者 254 バイパス沿いで 15ha 強の空白地があります。近い将来、首都高速道路とつながる予定となっています。この地域の土地利用について、市でも地権者の意向を聞き、高度利用などの検討をしているようですが、新河岸川により分断をされたこの地域の将来像を皆で考えていかないといけないと考えています。市長の考えをお聞かせください。

市長 地権者の意向が重要であると思っています。営農を続けていきたいという方もいますが、土地活用を図ってもらいたいという方も多いです。行政としても、皆さんと力を合わせてこの地域の将来的な土地利用を考えて進めていきたいと思っています。一つの考え方として、行財政運営のためには、企業誘致も重要と考えています。県でも最先端産業の誘致に力を入れています。一方で、営農を続けていきたいという方のためにも農地としてのエリアを確保する必要もあると思います。農業振興地域の網がかかっていますので、そう簡単には外すことはできません。大規模団地の開発など過去の人口急増の中で、農業振興地域を設定した経緯があります。地権者への意向調査の結果は、何らかの土地活用を図ってほしいという意見が多いので、企業誘致は検討しているところです。

参加者 企業誘致に関しては、大野原地域が進められているようです。工業系の企業誘致は、税収も上がるし、雇用の推進にもつながります。計画はありますか。

市長 大野原地域の企業誘致は以前より話があります。大野原地域の企業誘致が終了したら下福岡地域に取り掛かるということではありません。254 バイパス周辺については、土地活用を図る地域として昨年県から県に対し手を挙げています。

参加者 福岡高校跡地の問題について、どのような状況になっていますか。

市長 市としては買いたいと思っています。現在、校舎を維持するだけでも数千万円の経費がかかっているようです。校舎を使いたいという学校法人もあり、大学の一部を活用してもらうことも検討しています。学生も来るので地域の活性化も図れると考えています。

県とも公共減免などを含めて交渉も大詰めのところで、ここ 1、2年の間に結論付けたいと思っています。

参加者 福岡高校脇の道路が整備されるようですが、開通はいつごろでしょうか。

道路課長 7月の梅雨明けごろに舗装を施したいと考えています。

参加者 国の補助金を直接交渉して獲得していると聞きましたが、どれくらい獲得しましたか。

市長 清掃センターの整備費用について、平成 27 年度事業から平成 26 年度事業に前倒したことにより 4 億 5 千万円を獲得、小中学校 4 校の大規模改造とトイレ改修で 1 億 5 千万円を獲得しました。

学校の補助金については、福小、駒西小、東原小、大井中の大規模改造工事やトイレ改修工事の国庫補助事業 4 本が当初不採択になりました。翌年度以降のこともありますので、丹羽文部科学省副大臣に面会し、状況を聞いたところ、耐震工事優先で事業採択を行ったという説明でした。ふじみ野市では他の事業より安全を優先的に耐震工事を行い、これから教育環境の改善事業を行うというところで、今まで耐震工事に着手してこなかった市町村を優先的に事業採択するのは納得がいかないことを直接申し上げ、補助金をいただけることとなったものです。

参加者 揚水費の補助も出してもらえるようなので、是非お願いしたいと思います。